

第51回滋賀県公立小中学校事務研究大会オリエンテーション

全体会

「あっ！これならワタシ、できてるかも！？」

～子どもの豊かな学びと育ちへの一步をみつけよう～

湖南ブロック実行委員会

2011年にはすでに「現在小学校に入学する子どもたちの65%は、今存在しない職種につくことになる」と言われていました。You tuber、ドローン操縦士、終活プロデューサー、インスタグラマー……。確かにこの数年間、10年前にはなかった仕事が次々と創出されています。そんな目まぐるしく時代が変わっていく中で、子どもたちに求められている資質・能力とはなんでしょうか。「何を知っているか」などの単なる知識・技能の所有や習熟とあわせて、「問題解決するためのちからを支える資質・能力」が重要になってきています。

このことは子どもたちだけではなく、現在を生きる私たち学校事務職員にも当てはまります。この研究大会では、これからの社会を生き抜く子どもたちの成長に寄り添い、未来へと繋いでいくために、私たち自身の「学び続ける力」を養い、知識・技能の学びほぐし(アンラーニング)を行います。今一度自分をふりかえり、学校事務の「気づき」とこれからの「可能性」について、私たちとともにさがしてみませんか？

第1分科会

「教育を支援する学校事務職員をめざして」

～学校事務職員のつなぐ役目とつながる可能性～

東近江市小中学校事務研究会

東近江市小中学校事務研究会では、どんな環境下でも「つながり」を大切にしています。

その一つとして仮想「東近江学園」を舞台に「課題解決シミュレーション」を通して研究を深めてきました。

しかし近年、つながりに関する困り感は増幅し続け、ついに凶悪な怪物「コマッター」を生み出してしまいました。コマッターは、東近江学園の教職員や関係機関をどんどん疲弊させていきます。

そこで立ち上がったのが、3年目の学校事務職員「田中くん」です。田中くんは、東近江学園を救うべく、いろんな人とつながりながら、解決の手立てとアイテムを手に入れていきます。

田中くんは、コマッターから東近江学園を救い、笑顔あふれる学園を取り戻すことができるでしょうか？

あなたの学校にも、コマッターはいませんか？きっと、この分科会の中に、あなたの市町のコマッターを撃退するヒントが隠れているはず！さあ、田中くんと冒険の旅に出かけませんか？

第2分科会

愛知郡 業務改善からみえた人材育成

犬上郡 「活かそう！町の共同実施を郡へ」

～つぎの一步を踏み出すために～

愛知・犬上郡小中学校事務研究会

小規模である町が集まり研究を進める愛知・犬上郡小中学校事務研究会。地理的にも離れているため、それぞれの町独自の活動が中心です。

最初に愛知・犬上郡合同での活動を紹介し、続いて愛知郡、最後に犬上郡の取り組みを紹介します。

愛知郡では、平成27年度の「事務職員の標準的職務内容」や「滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標」の通知を受けたことが私たちの職務を見直すきっかけとなりました。郡としての従来の活動に加え、『手当認定審査会の電子化』『財務マニュアル作成』『備品共有化』『共同学校事務室設置準備』『郡市合同研修』『関係機関との連携』の取り組みを行い、業務改善からの研修参画に重点を置き、人材育成を図っています。

犬上郡は「3」をキーワードに進めています。

郡内には3つの町があり、それぞれたった3人の事務職員で共同実施をおこなっています。少人数ながらも一人一人が得意な分野をいかし、学校事務の効率化を進めています。

本日は若手の事務職員が各町の共同実施の取り組みを話し合いながら「子どもたちの健やかな成長のため」に私たちにできることは何か考えていきたいと思えます。